

成果指標				
成果指標	伊予市デイサービスセンター「ものさと」の一日平均利用者数を21人以上にする。			
指標設定の考え方	伊予市デイサービスセンター「ものさと」は介護保険事業所として活用され、主に介護保険収入により運営されている。定員は30人であるが、デイサービスを提供する民間の事業所も増加し、現状は一日平均20人前後で推移している。今後、対象者が増加することが見込まれるため、指標を設定し動向を把握することとした。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	21	21	21	21
実績	19	19.3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	利用者は微増しているものの目標達成には至っていないが、施設設備の更新を徐々に進め、26年度には入浴リフトの設置を予定しており、利用者の増加を期待している。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	高齢者福祉のための中核的施設である。指定管理者の独自サービスとして介護保険事業を行っている。地域の介護保険事業所として一層の機能向上を望んでいる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題